



KTCC NEWS

19号

2021年7月

日本の中の世界



(撮影時のみマスクをはずしております。)

新緑の爽やかな6月のある日、滋賀県D社の実習生は、同県内にある高校のキャンパスにいました。3年生の「国際協力」の授業に招待されたもので、外国人とのコミュニケーションに関する学びに協力します。第1回目であるこの日は、実習生9名が参加。待ち合わせよりも30分早く学校に到着していた彼らは、新たな出会いが楽しみで仕方ない様子でした。

自己紹介

会場となる図書室へと入った彼らに「簡単な自己紹介のお願いでした。とたんに緊張の面持ち。お互い顔を見合わせて苦笑いする様子に、「大丈夫だろうか」と見ているこちらがハラハラと落ち着きません。そんな心配をよそに彼らは、「簡単」ではないしっかりとした内容の日本語を披露。今日この場で学びたいこと、日本に来た目的、好きな言葉など、自身の言葉で自らをアピールすることができました。

グループワーク (以下GW)

実習生1名と高校生3〜4名によるGW。第一部では、高校生が考えた「外国人への日本語授業案」をもとに、実習生に対して授業が行われました。クアンさんは、ジェスチャーを用いたクイズを通じて、動詞について学ぶことになりました。ところがクアンさんが次々と正解していくため、あらかじめ準備されていた動詞では足りなくなってしまう(別のグループでも、予定していた内容では簡単すぎるという事態に陥っていたようです)。実習生たちの日本語力が高いがゆえのハプニングでしたが、難しい動詞を追加したり、実習生の希望に沿って内容を変更したりと、高校生たちの機転により授業はうまく回っていました。第二部では、留学生に対して実際に使用されている教材を用いて、インタビュー形式のディスカッションが行われ(詳細については次号以降で紹介)、大盛況の中GWは終了しました。「日本人の友達を作りたい」と言っていた実習生たちは、GWをきっかけに高校生と仲良くなり、連絡先を交換していました。終わりの時間が近づいてもその盛り上がりは収まることなく、高校生、実習生双方にとって有意義な時間となりました。



つながり

今回の訪問は、高校からの依頼により実現したものでした。経緯について先生にお伺いする中で、忘れがたいお話がありました。「コロナの前は、海外ばかりに目が向いていた。自由に行き来ができないうち、改めて国内を見渡せば、身近なところにも外国人がいる。日本国内でも国際協力ができるということに、この状況だからこそ気付くことができたのだと思う。」コロナ禍により人とのつながりを感じづらくなっている中で生まれた、新たなつながり。実習生にとって大きな財産となりました。この「つながり」は、あと2回開催されます。全ての回で高校生たちとの間で素敵な「つながり」が生まれ、やがて連鎖していくことを心より願っています。



トラブル事例 「見知らぬ人には」用心

ある日の夕方、Y社実習生寮に、「電気をチェックしに来た」という見知らぬ男性の訪問がありました。会社から何も聞いていなかった実習生は、その男性が部屋に入ることを拒否し、翌日会社に相談。そのような話はないとの回答で、不審者による寮への侵入が疑われました。

点検時は事前に必ず会社から連絡があるので、心当たりがない時は部屋に入れてはいけません。「知らない人に話かけられたら、周りから見える場所に移動する」など、内容は様々。今回はそれらの指導が功を奏し、トラブルを未然に防ぐことができました。相手を選ばず狙っていることもあれば、日本の生活に慣れていない外国人だと分かった上で近づくこともありま。色々なパターンを想定し、自衛の術を実習生に伝えていかなければなりません。

日本語能力試験N1合格 イエンさんへのQ&A



イエンさん (ベトナム)
2018年11月入国
電子機器組立て

愛知県P社の実習生イエンさんは昨年12月、初めての挑戦で日本語能力試験の最難関レベルN1に合格しました。

ベトナムの送り出し機関で学んでいる頃から、真面目で一生懸命。先生が言うことはきちんとメモに取り、新しく学ぶ文法もすぐに理解することができると褒められてきた。面白い文章を作ることができ、明るい性格も相まって、クラスの盛り上げ役も務めました。P社に入社してから目標に向かって頑張る姿勢は変わらず、平日は1時間、週末は2時間以上、テキストを使った勉強を続けました。実習や生活のことを話題に日本人社員に意識的に話しかけるなど、生きた日本語を学ぶことを心がけていました。そういった努力が、入国1年後のN2合格、2年後のN1合格につながりました。

合格にあたり日本語でいくつか質問したところ、早速SNSを通じて回答が返ってきました。左記イエンさんの日本語はいかがでしょうか？(一部抜粋、原文ママ)

Q 日本語は何か難しいですか？
A 読解が難しいです。一番苦労したのは語彙です。

Q 発表までの気持ちは？
A 発表まで自信があまりありませんでしたが、絶対に落ちたくないほど不安だという気持ちを抱えていました。

Q 合格と知った時の気持ちは？
A 本当に嬉しくて、涙が出るほどの喜びを味わいました。この感動はいつになっても忘れずにいたいんです。それに、勉強する動機の中で最も大きいのは親を喜ばせたいです。その時すぐに親にお知らせしました。

Q 次の目標は？
A スキルとしては「人の話を聞く力、理解する力」、「高い母国語の活用能力」、「コミュニケーション能力」といったものがあげられるように、頑張ります。

Q 受ける人へのアドバイス！
A 受験はドキドキしましたが、このドキドキは、受験を楽しんでいるドキドキだったのでいいと思います。皆さんも、試験は思いっぴらずに楽しんで受けてください。

●日本語能力試験(JLPT)とは？
N5(易)〜N1(難)の5段階。N1はビジネスシーンで通訳ができるレベル。

～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々動いております。「何の知識もないけれど...」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

Kansai Technical Cooperation Center
協同組合関西技術協力センター
一般監理団体/登録支援機関



本部外観



発行・お問い合わせ 大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号

名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオビルディング4F

広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F